



松林小だより

平成30年12月25日
学校便り No.11
羽村市立松林小学校

東京都羽村市羽4122-2 電話 042-554-7800

改めて感謝の想い

校長 瀬戸 隆幸

今年も残すところ、あと六日間となりました。保護者の皆様、PTA役員の皆様、青少年対策松林地区委員会の皆様、各町内会・自治会の皆様、各団体の皆様、地域の皆様には、様々な場面でご支援・ご協力をいただき、誠にありがとうございました。また、地域の皆様には、温かい目で子供たちを見守っていただき、心より御礼申し上げます。おかげさまで松林小の子供たちの笑顔がたくさん輝きました。

子供たちは、学校外でも様々な行事やスポーツ、習い事、塾等で学校とは違う活躍を見せてくれたことと思います。また、家庭でも学校と違う場面で頑張る姿があったことと思います。子供たちは、いろいろな場所で様々な姿を見せます。我々教師も、子供のある一面だけ一時だけを見て決めつけることのないよう、気を付けたいと思います。

そもそも子供たちは成長の途中です。山有り谷有りはあたりまえです。「問題行動を起こす子供は、孤独感や不安感が強く、自己評価が極端に低い傾向がある」と指摘する研究もあります。もちろん、注意や叱責は子供たちの規範意識形成には不可欠ですが、輝いている子供の姿や失敗がその後の糧になり、成長する姿の近くには大人の愛情や称賛が必ずあると思います。失敗の後にぐっと成長する子供の姿を何度も見てきました。様々な場面で子供を頑張らせる場作りとともに、「三年寝太郎」の話のように、のんびりと子供時代を過ごす時も必要かと思います。今後もぜひ、様々な場面での温かい声かけをどうぞよろしくお願いいたします。

わたしと小鳥と鈴と
金子みすず
わたしが両手を広げても
お空はちっとも飛べないが
飛べる小鳥は私のように
地べたを速くは走れない
わたしがからだをゆすつても
きれいな音は出ないけど
あの鳴る鈴はわたしのよう
たくさんな歌は知らないよ
鈴と小鳥とそれからわたし
みんなちがって みんないい

この詩は、金子みすずさんの「わたしと小鳥と鈴と」で、音楽発表会の全員合唱で歌ったものです。子供たちも一人一人が違い、一人一人が大切な存在です。勉強が得意な子もいれば、音楽や図工などの芸術面が得意な子、運動好きな子、周りの人にいつもやさしい気持ちで接する子、好き嫌い無く何でも食べる子、おしゃべり好きな子、無口な子、読書が好きな子……いろいろな子供がいて、お互いの良さを認め合い、足りないところを補い合えたらどんなに素敵なことでしょう。そういう人間関係を学べるのが学校の良いところだと思います。

松林小は全学年が単学級のため、クラス替えという新たな人間関係作りの機会が無いのは残念ですが、その代わり異学年との交流（たてわり班活動）が密にできるとともに、地域の方々とのふれあいも充実しています。

松林小の子供たちは温かい心をもっていますし、一人一人輝いています。これからも学校・家庭・地域が連携して、子供たち一人一人のよさを伸ばしていきたいと思っています。どうぞよろしくお願いいたします。